

2014年12月期第2四半期決算 前年同期比較資料

ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード:8179)

URL <http://www.royal-holdings.co.jp/>

2014年7月31日

ROYAL

- 2014年12月期第2四半期決算 連結業績 … 2
- セグメント別 売上高・経常利益 … 4
- 2014年12月期 連結業績予想 … 9
- 注意事項 … 11

1. 連結損益計算書

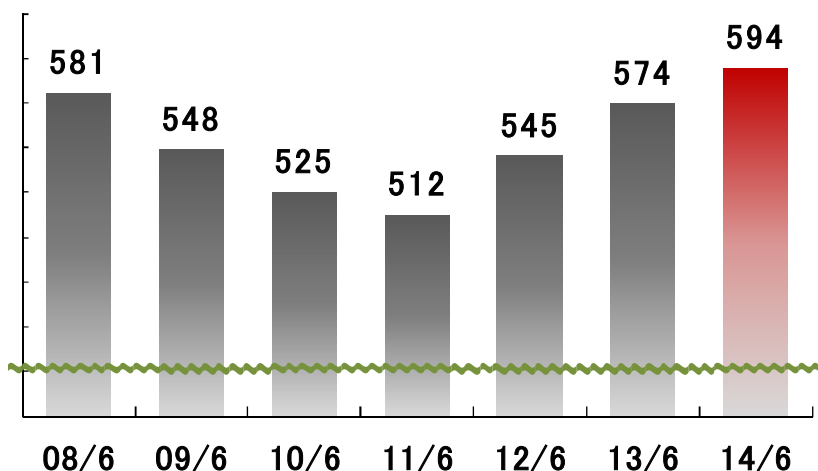
緩やかな景気回復基調のもと、増収増益基調を継続

(単位:百万円)	2013年 第2四半期	2014年 第2四半期	前期比	前期増減
売上高	57,429	59,417	103.5%	+ 1,987
営業総利益	39,380	40,593	103.1%	+ 1,213
販売費及び一般管理費	38,194	39,176	102.6%	+ 981
営業利益	1,185	1,417	119.5%	+ 231
経常利益	1,346	1,526	113.3%	+ 179
四半期純利益	594	533	89.7%	▲ 61

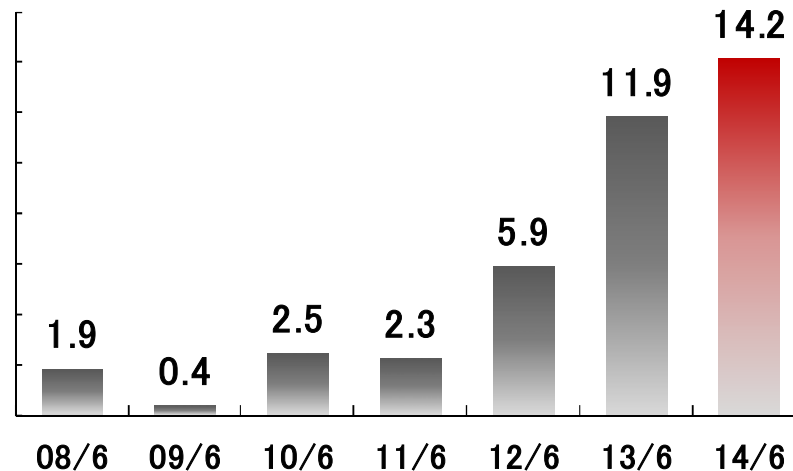
2. 第2四半期決算 連結業績推移

3期連続の増収増益(経常利益)、四半期純利益は僅かに減益

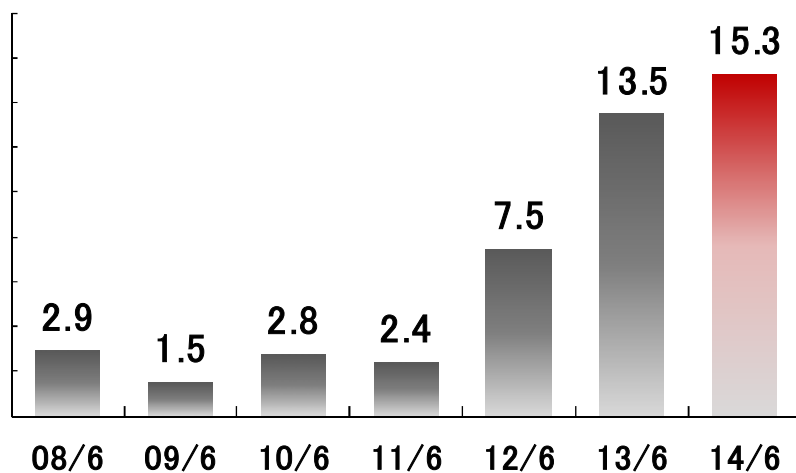
売上高



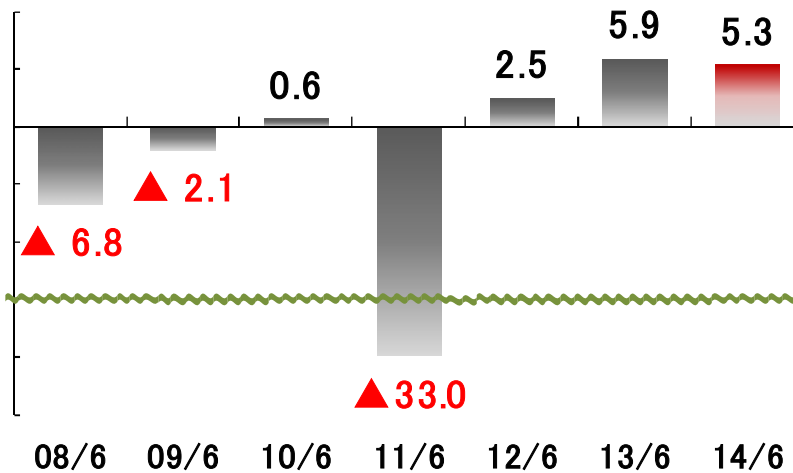
営業利益



経常利益



四半期純利益



(単位:億円)

3. セグメント別 売上高・経常利益

主要4セグメントが対前年増収、外食事業とホテル事業が増益を牽引

※売上高は内部売上含む

(単位:百万円)

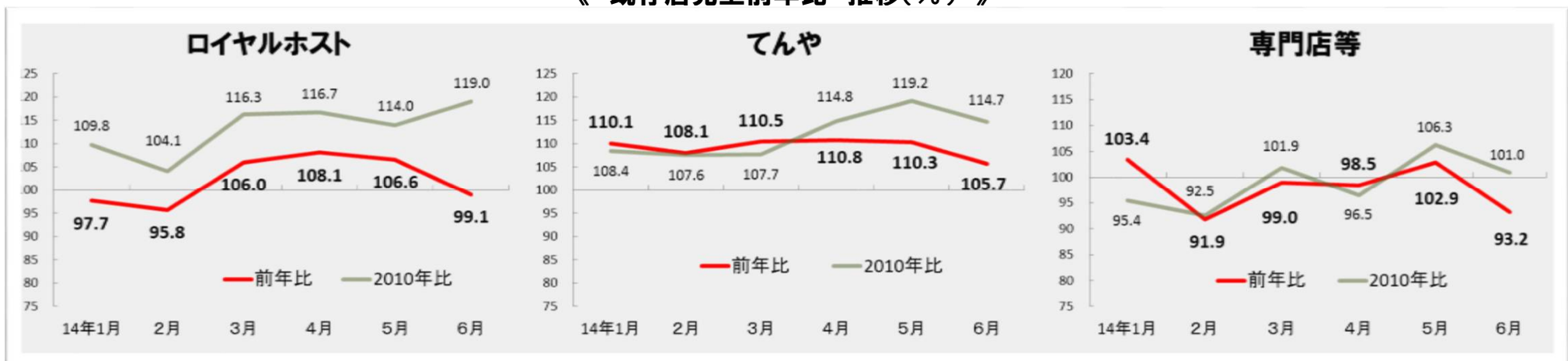
	2013年第2四半期		2014年第2四半期		前年同期比較	
	売上高(占有%)	経常利益	売上高(占有%)	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	29,005(50.5)	1,298	29,725 (50.0)	1,528	+ 720	+ 229
コントラクト事業	14,581(25.4)	414	14,829 (25.0)	364	+ 247	▲ 50
機内食事業	3,842(6.7)	406	4,186 (7.0)	337	+ 344	▲ 68
ホテル事業	8,504(14.8)	585	9,189 (15.5)	793	+ 685	+ 207
その他	1,495(2.6)	▲ 1,357	1,485 (2.5)	▲ 1,496	▲ 10	▲ 139
合計	57,429(100.0)	1,346	59,417 (100.0)	1,526	+ 1,987	+ 179

4. 外食事業

既存店売上が前年を超え、新店効果も加わり増収、原材料等コスト上昇による影響を、既存店増収と新店・業態転換等の増益により吸収

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2013年	第2四半期	2014年	第2四半期	前年差	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	29,005	1,298	29,725	1,528	+ 720	+ 229
ロイヤルホスト事業 (カウボーイ家族含む)	19,219	914	19,338	1,102	+ 119	+ 188
てんや事業	4,732	111	5,535	214	+ 803	+ 103
専門店等	5,054	273	4,853	212	▲ 202	▲ 62

《 既存店売上前年比 推移(%) 》

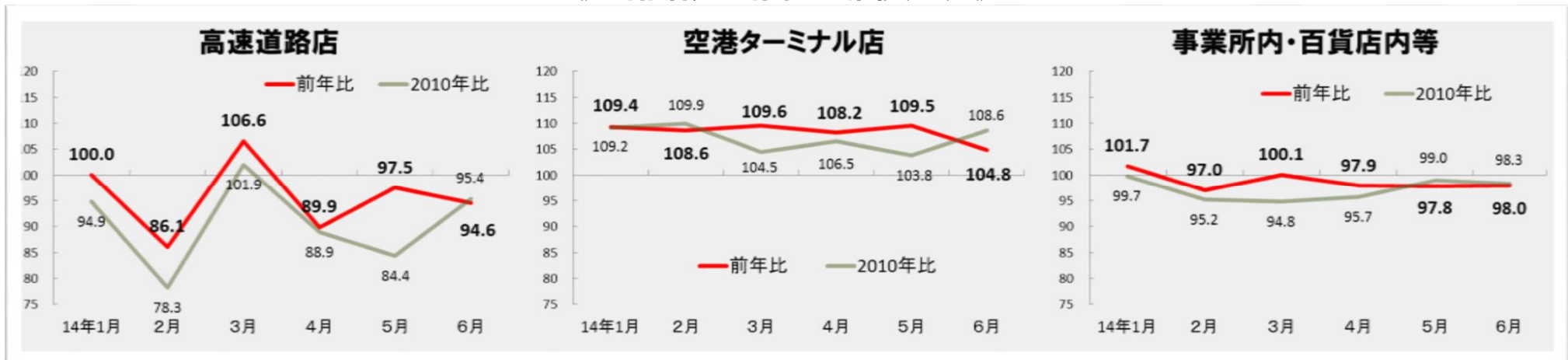


5. コントラクト事業

空港ターミナル店の好調と前期からの新店効果により売上増となるも、各種経費増を吸収できず、新店の開業費用増もあり増収減益

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2013年	第2四半期	2014年	第2四半期	前年差	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コントラクト事業	14,581	414	14,829	364	+ 247	▲ 50
高速道路・空港ターミナル	7,556	265	7,817	277	+ 261	+ 12
百貨店内等	3,815	181	3,718	81	▲ 98	▲ 100
事業所内給食等	3,210	▲ 32	3,294	6	+ 84	+ 38

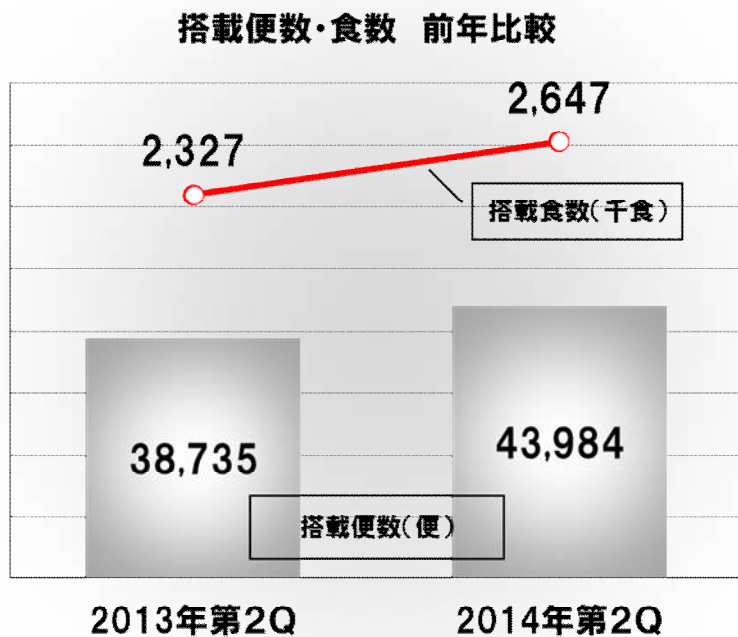
《 既存店売上前年比 推移(%) 》



6. 機内食事業

搭載路線の増加と既存路線の搭乗客数増により売上伸長、
一部路線における契約変更の影響が継続し増収減益

	2013年 第2四半期		2014年 第2四半期		前年差	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
機内食事業	3,842	406	4,186	337	+ 344	▲ 68



< 直近の表彰等 >

QSAI
(機内食会社監査プログラム)
2年連続(2012年-13年)
世界一獲得

シンガポール・キャセイ・
チャイナ・アジアナ・ユナイ
テッド・ジェットスター
各社から表彰

エアバス大型機
A380対応
搭載トラック導入

7. ホテル事業

既存ホテルが好調を継続し客室稼働率と客室単価が共に上昇、
新店効果もあり増収増益

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2013年	第2四半期	2014年	第2四半期	前年差	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
ホテル事業	8,504	585	9,189	793	+ 685	+ 207
既存店・間接	8,504	587	8,906	784	+ 402	+ 197
新規開業効果(開業準備含む)		▲ 2	283	9	+ 283	+ 11



フレンドシップホテル 運用開始

釧路ロイヤルイン



ココチホテル沼津



8. 2014年通期予想 / 下半期の前提

事業環境

全体として緩やかな景気回復は続くものの、消費税増税と諸物価の上昇により個人消費はやや弱含むものと予想

外食事業

【ロイヤルホスト】既存店への投資を継続、従来のイメージ改装と厨房改装に加え、「第2クール」改装を進める
 【てんや】直営・FCの出店加速、好調なロードサイド店も出店を進める
 【専門店】新業態によるミドルサイズチェーンの店舗展開を継続

コントラクト事業

【高速道路店】ガソリン高騰等による利用者減少が影響大
 【空港ターミナル店】利用客の増加は今後も継続と予想、拠点獲得を進める
 【事業所、百貨店等】百貨店のリモデル対応と官公庁等への入札継続

機内食事業

搭乗客増も引き続き環境は厳しいと予測、収支バランス改善に努める

ホテル事業

高稼働率を持続させる為、経年ホテルへの計画的再投資を継続

8. 2014年通期予想 / 連結業績予想

【売上高】 上半期より弱含むものと予想、通年で増収を目指す
 【営業・経常利益】 増収が各種の経費増を吸収して増益
 【当期純利益】 特別利益・特別損失共に前期並みと予想

(単位:百万円)	2013年 12月期	2014年 12月期予想	前期比	前期増減
売上高	120,730	122,000	101.1%	+ 1,270
営業利益	3,498	4,100	117.2%	+ 602
経常利益	3,761	4,200	111.7%	+ 439
当期純利益	1,663	1,800	108.2%	+ 137
EBITDA	8,602	9,400	109.3%	+ 798
ROA	4.8%	5.2%	—	+ 0.4%

EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却額+支払利息(ネット)

ROA=経常利益÷総資産(平均)×100

- ・ 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
- ・ 本資料に記載している当期純利益については、当期純損失の場合に▲で表示しております。
- ・ 本資料に記載している12月期については、対象年の連結累計期間として表示しております。
- ・ 本資料に記載している2014年通期の予想値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務企画部IR室

電話：03-5707-8873 宮川